

理事会議事録

社団法人 日本グラススキー協会

- 1 会議の種類 第 17 回理事会
- 2 召集年月日 平成 20 年 3 月 6 日
- 3 開催日時 平成 20 年 4 月 21 日 (月) 午後 13 : 20 ~ 2 : 10
- 4 開催場所 株式会社アルピオン 本社分室 C 会議室
- 5 理事総数 17 名 出席理事数 14 名 (定足数 11 名 会議成立)
内訳 本人出席 9 名 竹鶴 威、小林英夫、池上三紀、三島木和晴、今村昭二
吉永博人、飛鳥井匠哉、高橋浩之、藤田洋一
委任状出席 5 名 出席監事 井田敏夫、塚田耕一

6 議長専任

定刻に至り司会者が開会を宣し、本日の理事会は定数を満たしたので有効に成立した旨を告げ、定款により議長として会長竹鶴 威を満場一致で選任し、議長より挨拶の後、議案の審議に入った。

7 会議の概要

(1) 議事録署名人人選任の件

議長は本会の議事録署名人の選任を議場に諮ったところ満場一致をもって次の者を専任した

議事録署名人 藤田 洋一 飛鳥井 匠哉

(2) 議事の審議状況及び議案別議決結果

第 1 号議案 平成 19 年度収支決算及び事業報告

議長の指名により藤田常務理事より同案について説明があった。

監事井田、塚田監査報告資料の詳細説明。

海外遠征費用、大会費の増額事由、短期借入金返済額変更説明の後、これを議場に諮ったところ、満場一致をもって異議なく承認した。

第 2 号議案 平成 20 年度基本予算案並びに事業計画

議長の指名により藤田常務理事から同案について説明があった。

事業計画では国際大会 (ジュニア世界選手権・スイス チルドレンキャンプ・スロバキア) への代表選手派遣を行う事。国内においては F I S レース (A 級公認) 5 レースと B 級公認大会他の開催。グラススキーステップアップ 2008 の開催。体験会・講習会の開催。予算関係ではスポンサーシップとして 110 万円の収入を

目指す旨が説明された。議案内容に関連しての審議があり審議の結果、満場一致をもって異議なく承認した。

〔質問〕新規のスポンサーシップ・サポーターの予測は（小林）

〔回答〕サポーターは1口5万円から募集し、新規スポンサーを含め目標額を達成したいと考えています。（藤田）

第3号議案 総会議案の検討 その他

<主催事業受益者負担他平成20年度事業>

主催事業参加費徴収、代表選手自己負担の設定

<2011年世界選手権の開催検討是非>

FIS国際スキー連盟グラススキー委員会より打診検討への回答

<平成19年7月の文部科学省実地調査に対す対応について>

指導項目についての改善策

<新規公益法人法対応、定款変更案>

本年12月に施行の公益法人法に対応する為の、定款変更案の社員総会審議

<会計監査>

昨年承認の伊藤会計事務所より会計監査辞退について

会計監査としてではなく今後の協会全体へより多くの指導を頂く為

<理事会・社員総会の開催>

理事会総会の開催回数減について

議長の指名により藤田常務理事より説明があった後これを議場に諮ったところ、満場一致をもって異議なく承認した。

以上をもって議案の審議が終了したので、議長が閉会を宣した。

この議事録が正確であることを証する為、議長並びに議事録署名人はこれに署名捺印する。

平成20年4月21日

社団法人 日本グラススキー協会

第17回理事会

議 長 竹鶴 威 印

議事録署名人 藤田 洋一 印

議事録署名人 飛鳥井匠哉 印